

授精課通信



*お久しぶりです。今月号は中西が担当させていただきます。

私たちは、農家さんでその日に見る牛について、何らかの形でなるべく『記録を残す』ようにしています。その重要性や記録方法、記録内容や活用方法を紹介したいと思います。

◎重要性

- ① 過去を振り返ることができる
- ② 農家さんもその日の授精状況がわかりやすく確認できる
- ③ 万が一ミスがあった時、その時の状況がわかり適切に対応ができる

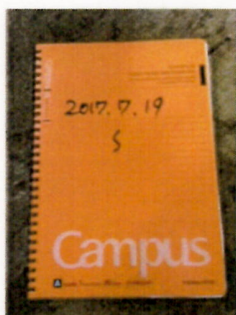
・私たちは基本業務として、翌日排卵確認を行っています。その際に前日と違う授精師が行った場合でも、前日の卵巢の所見や状況を容易に確認することができ、見落としの予防につながっています。たまにあるケースを1つご紹介します。「授精した初日の発情確認の際に主席卵胞と思われる卵胞と小さな卵胞が共存していることを確認、翌日の排卵確認の際には主席卵胞だと思われた卵胞は残ったままで、共存していた小さな卵胞の方が排卵している」両日とも同じ授精師ならば見落とすことはないのですが、違う授精師の場合は主席卵胞が残ったままだと判断し連注する可能性があります。ここで、記録表の排卵確認牛のところに所見を書いておけば容易に確認でき防ぐことができます。

・農場に入った際にその日に直検する牛が一覧で記録表に書かれているので、牛のところに行く前に前回の授精日や授精内容等の台帳確認や気になることを事前に確認することができ、判断材料が増えミスを軽減することができます。

・農家さんが授精に立会いできない場合に、その日授精師に見せた牛の状況や判断を授精師が帰った後でも確認することができたり、受胎率の良くなかった時にその授精時期にさかのぼって振り返りどういうことが起きていたのか思い出せたりもします。絶対に起こってはならないですが種付け間違い等の授精ミスが起こってしまった場合にも、その時の状況の確認や記憶が思い出しやすく、何も記録が無い状態よりも対応が適切になります。

◎記録方法

記録する物は農家さんによって様々ですが『キャンパスノート』や『お手製の表』などが多いです。



		年	月	日
牛番号	状態等	授精師コメント		
	粘液・鳴く・PG(日目)・排確 その他()			
	粘液・鳴く・PG(日目)・排確 その他()			
	粘液・鳴く・PG(日目)・排確 その他()			
	粘液・鳴く・PG(日目)・排確 その他()			
	粘液・鳴く・PG(日目)・排確 その他()			

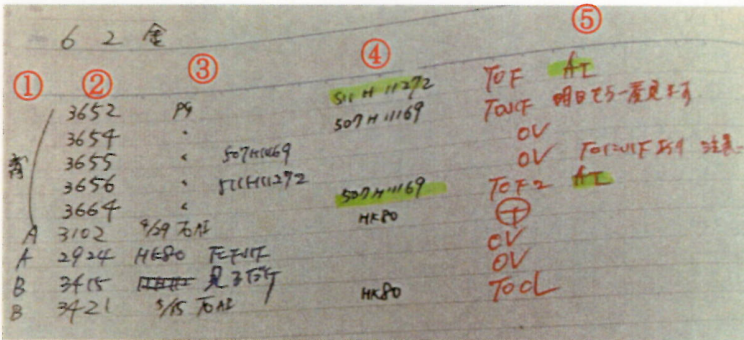
◎記入内容と活用方法

必要最低限な記入内容

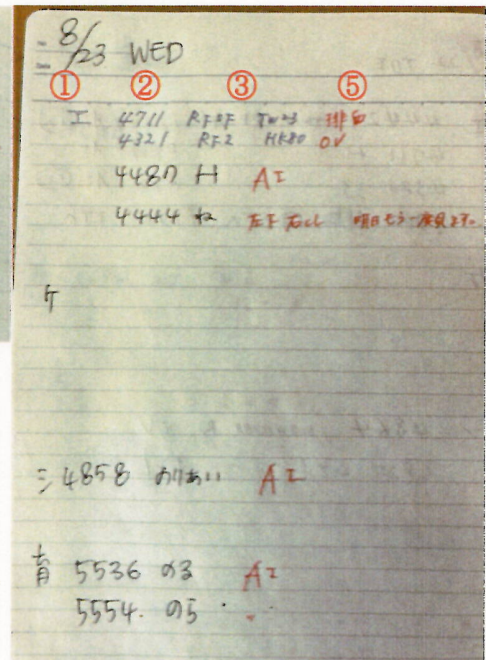
- ・農場→その日授精師に見せる牛の番号
- ・授精師→判断内容 (授精や移植の有無等)
翌日の排卵確認予定

記録簿への記入は、農家と授精師の両者が行います。記入している内容は、必要最低限の情報以外は農家や授精師ごとに様々です。実際に私が授精に行っている農家さんの記録簿を紹介しながら解説していきたいと思います。

A 農場



B 農場



- ☆A、B農場→ノートを使用
- ☆C、D農場→お手製の一覧表を使用

- ①→群やペンの名称
- ②→牛番号
- ③→兆候・プログラム種類・前回授精日
前日卵巣所見&使用精液
(↑D農場は⑤に記入)

- ④→授精時希望精液
- ⑤→授精師のコメント
卵巣所見・AIの有無・その牛に対してのコメント

☆農場側の活用方法

・農場によっては、繁殖担当者と授精牛を保定する担当者が違う場合等にこの記録一覧表で確認し、該当牛の保定の確認を容易にしています。

- ・その日の授精状況の確認
- ・発情発見の答え合わせ

☆授精師側の活用方法

- ・対象牛を台帳等で事前確認

C 農場

②	③	年 月 ⑤ 日	授精師コメント
1928	粘液・嚙く・PG(3日目)・排膿		RF AI
1047	粘液・嚙く・PG(日目)・排膿		卵移植
0960	粘液・嚙く・PG(日目)・排膿		RF AI
1181	粘液・嚙く・PG(日目)・排膿		Tw23 RF OV
	粘液・嚙く・PG(日目)・排膿		
	粘液・嚙く・PG(日目)・排膿		
	粘液・嚙く・PG(日目)・排膿		

① ② D 農場

①	②	③	⑤	⑤
3053	土一強チフ	SD MT 状態うるさい	粘液 黒期	十のはす
3013	土一強チフ	SD MT 状態うるさい	粘液 黒期	十のはす
3034	土一強チフ	SD MT 状態うるさい	粘液 黒期	十のはす

507H 11383 R OV (+) AI

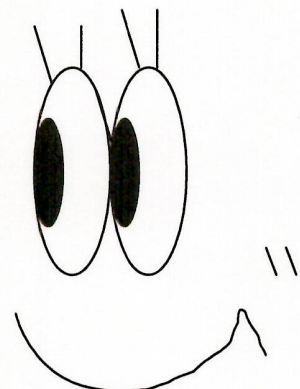
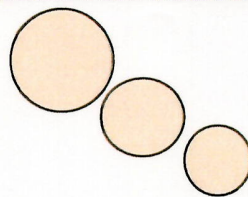
*この記録を残すという作業は、農家さんにとっても授精師にとっても少し手間のかかる作業かもしれませんが、その分の価値はお互いにとってもあると思います。ミスの予防や確認作業、過去の状況を振り返ることができるということは、とても大きいと自分自身実感しています。自分の担当している農家さんでの出来事ですが、繁殖検診の結果があまり良くなかった時等に、農家さんや担当獣医師から「この時期に何かありましたか?」、「この日の授精結果だけ悪かったけど、中西さん何かあったの?」と聞かれることがたまにあります。その時に、すぐにノートを振り返りこの頃を思い出すことができ、対処や説明ができます。私は、このノートに農家さんへメッセージを残したりもします。なので、私にとってこの記録用ノートは、農家さんとのコミュニケーションツールの一つである『交換ノート』だと思っています。ぜひ皆さんも慣れるまでは、すごく手間に感じると思いますが授精師と交換ノートを試してみてください。



*先日ある授精師と話していた余談を少し♪

授精師の中には、授精した直後に受胎を願っておまじないをする人がいるそうです。その方法は、手を合わせて「ありがとうございます。」と言ってみたり、「私失敗しないので!」で有名な某ドラマの女医の様に牛の体に触れてみたり、授精師によって本当に様々です。やっていない人の方が多いのかもしれませんが、授精に立ち会ってふと思い出した際には、よく見てみてください。

*新体制そして独り立ちをして早くもちょうど1年が経ちました。思い返すとこの1年は、記憶がない程あっという間でした。ただ、目の前の業務を男性陣2人に置いて行かれない様にひたすらこなしていただくだけで精一杯だったなと思うところもあります。2年目の今、基本の授精業務の技術向上はもちろんのことながら、何かしら+αの形で農家さんに関わって行けるように成長していけたらと思います。引き続き、中西をよろしくお願い致します。



Nakanishi